

人生、ムダにこそ意味がある

一刀斎、最後の戯言

生前に発表された著作の中から、肩肘張らない「気の利いた」表現を精選した名言集。人生・数学・教育・文化の四つのテーマに分けて収録。この窮屈な時代に生きるすべての人へ、最後の名物教授が贈るラストメッセージ。



森 毅 著

1928年生まれ。東京大学理学部数学科卒業。1957年京都大学助教授、71年教授。最後の名物教授として多方面に活躍。91年、63歳で定年退官し、京都大学名誉教授に。晩年は自称「フリーター」の評論家・エッセイストとして独自の視点から発言を行い、分野を超えて多くの人に親しまれた。著書に、『21世紀の歩き方』『社交主義でいこか』『元気がなくてもええやんか』（以上、青土社）、『位相のころ』（ちくま学芸文庫）など多数。2010年7月、敗血症性ショックのため死去。享年82。

〈目次〉

I ドラマの中か、現実か？

1. こんな少年見たことない？
2. 東の旅——東大から北大へ
3. 京大という劇場へ戻ってきて
4. 学生運動と団交の時代
5. ついに脱官僚へ

II 「論理」の周りの気分——おもちゃにもなる数学

III 湧き出る提案は教師稼業のゆえ？

1. 教育の価値を未来に置く
2. 異論の中にも落とし処——受け容れられそうな提案
3. ことばの変な使われ方
4. 逆転すべき「常識」たち
5. 教育を遊びに
6. 測れるものとは何か——評価というやっかいなもの
7. 自分が大事——生徒・親たちへのメッセージ
8. さしきわらし——「異文化」としての子ども
9. 笑われてなんぼよ——教師という面白き存在

IV 風貌は一刀斎、でも心は二刀流使いの二刀斎

1. マイナーな自分をいとおしく
2. 二刀流の極意
3. 見える鎖、見えない鎖
4. 笑って、笑われて

あとがき
関連年表／主要著作一覧

福井直秀 編

1949年生まれ。京都大学大学院教育学研究科博士課程修了。京都大学教育学博士。京都大学教育学部助手などを経て、現在、京都外国語大学外国語学部教授。京都大学非常勤講師。日本笑い学会京都支部・代表。専攻は日本近代思想史、教育学。著書に『「笑い」の技術——笑いが世界をひらく』（世界思想社）、『柳田国男——社会改革と教育思想』（岩田書院）などがある。

2010年
12月中旬発売予定
四六判／224ページ
定価：1,470円
(本体1,400円＋税)

○お申し込みはお近くの書店まで 〒112-0001 東京都文京区白山2-29-4 <http://www.heibonsha.co.jp/>
TEL 03-3818-0874 FAX 03-3818-0674

平凡社

申 込 書	平凡社 一刀斎、最後の戯言 定価：1,470円（税込） ISBN978-4-582-83492-5		お申し込み書店名
	おなまえ	おでんわ	
	おところ 〒		